

菊池広域連合告示第16号

菊池広域連合財政事情の公表

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び菊池広域連合財政事情公表に関する条例（平成10年菊池広域連合条例第23号）第2条第1項の規定に基づき、菊池広域連合財政事情を別紙のとおり公表する。

令和4年12月1日

菊池広域連合長 荒木 義行

菊池広域連合の財政事情

令和4年12月1日公表

目 次

まえがき	-----	1
1 令和4年度上半期における一般会計の執行状況	-----	2
2 令和4年度 構成市町負担金の状況	-----	3
3 広域連合財産の状況	-----	4～6
4 令和3年度における一般会計決算の状況	-----	7～14

ま え が き

ここに公表します「財政事情」は、菊池地域住民の皆様に広域連合の財政事情をお知らせすることにより、広域連合財政の実態と主要な施策についてご理解をいただき、管内市町の発展についてご理解・ご協力を得るためのものです。

今回は、令和4年度上半期（令和4年4月1日から令和4年9月30日）における一般会計の執行状況、令和3年度における一般会計決算の状況などを主な内容としております。

1. 令和4年度上半期における一般会計の執行状況

1) 歳入

(単位：千円、%)

予算項目 款名称	当初予算額	補正予算額 流充用額	予算現額	収入済額	収入未済額	収入率
1 分担金及び負担金	2,378,300	0	2,378,300	1,902,640	475,660	80.0
2 使用料及び手数料	30,920	0	30,920	16,396	14,524	53.0
3 国庫支出金	0	0	0	0	0	-
4 県支出金	5,580	0	5,580	0	5,580	0.0
5 財産収入	295	0	295	0	295	0.0
6 繰入金	99,200	0	99,200	0	99,200	0.0
7 繰越金	7,000	0	7,000	0	7,000	0.0
8 諸収入	258	0	258	124	134	48.0
9 連合債	372,400	0	372,400	0	372,400	0.0
歳入合計	2,893,953	0	2,893,953	1,919,160	974,793	66.3

2) 歳出（目的別）

(単位：千円、%)

予算項目 款名称	当初予算額	補正予算額 流充用額	予算現額	執行済額	残 額	執行率
1 議会費	2,341	0	2,341	326	2,015	13.9
2 総務費	96,982	52	97,034	44,276	52,758	45.6
3 民生費	67,333	0	67,333	14,121	53,212	21.0
4 衛生費	287,715	0	287,715	153,911	133,804	53.5
5 消防費	2,262,973	0	2,262,973	929,347	1,333,626	41.1
6 公債費	169,609	0	169,609	81,288	88,321	47.9
7 予備費	7,000	△ 52	6,948	0	6,948	0.0
歳出合計	2,893,953	0	2,893,953	1,223,268	1,670,685	42.3

2. 令和4年度構成市町負担金の状況

1) 市町負担金の状況

(単位：千円、%)

予算項目 市町村	当初予算額	補正予算額	予算現額	収入済額	収入率
菊池市	760,728	0	760,728	228,218	30.0
合志市	662,985	0	662,985	198,896	30.0
大津町	461,784	0	461,784	138,535	30.0
菊陽町	492,803	0	492,803	147,841	30.0
合 計	2,378,300	0	2,378,300	713,490	30.0

2) 市町負担金の内訳

(単位：千円)

負担金項目 市町名	管理費	介護 保険費	障害者総 合支援費	火葬場費	し尿 処理費	消防費	総 計
菊池市	19,707	18,089	4,974	9,659	132,681	575,618	760,728
合志市	25,572	15,380	4,104	12,533	22,466	582,930	662,985
大津町	15,419	9,216	2,444	7,557	40,247	386,901	461,784
菊陽町	18,531	9,422	2,404	9,083	15,625	437,738	492,803
合 計	79,229	52,107	13,926	38,832	211,019	1,983,187	2,378,300

3. 広域連合財産の状況

1) 土地及び建物

(1) 土地 (地積)

(単位：㎡)

区 分			R4.4.1	R4.4.1 ~ R4.9.30	R4.9.30
			現在高	増減高	現在高
その他の 行政機関	消防施設	泉ヶ丘消防署予定地	6,252.00	0.00	6,252.00
公共用財産	その他の施設	火葬場	6,698.50	0.00	6,698.50
		汚泥再生処理センター	11,763.00	0.00	11,763.00
合 計			24,713.50	0.00	18,461.50

(2) 建物 (延床面積)

(単位：㎡)

区 分			R4.4.1	R4.4.1 ~ R4.9.30	R4.9.30
			現在高	増減高	現在高
その他の 行政機関	消防施設	消防本部 (南消防署)	1,969.44	0.00	1,969.44
		北消防署	2,241.85	0.00	2,241.85
		西消防署	1,219.96	0.00	1,219.96
		泉ヶ丘消防署	403.64	0.00	403.64
公共用財産	その他の施設	公用車庫	42.00	0.00	42.00
		火葬場	1,628.27	0.00	1,628.27
		汚泥再生処理センター	4,441.81	0.00	4,441.81
合 計			11,946.97	0.00	11,946.97

(3) 工作物 (総延長)

(単位：m)

区 分				R4.4.1	R4.4.1 ~ R4.9.30	R4.9.30
				現在高	増減高	現在高
公共用財産	その他の施設	汚泥再生処理センター	排水管 (塩化BPΦ250)	1,399.00	0.00	1,399.00
合 計				1,399.00	0.00	1,399.00

(3) 工作物 (延床面積)

(単位：㎡)

区 分				R4.4.1	R4.4.1 ~ R4.9.30	R4.9.30
				現在高	増減高	現在高
その他の 行政機関	消防施設	南消防署	救助技術訓練棟	0.00	0.00	0.00
		北消防署	訓練塔 (鉄筋コンクリート造)	135.20	0.00	135.20
		北消防署	プール (25m5コース)	275.00	0.00	275.00
		消防本部 (南消防署)	無線基地局鉄塔	0.00	0.00	0.00
		西消防署	無線基地局鉄塔	0.00	0.00	0.00
合 計				410.20	0.00	410.20

2) 物品

区 分		R4.4.1	R4.4.1 ~ R4.9.30	R4.9.30	
		現在高	増減高	現在高	
車 両	事務局庁用車	2	0	2	
	消防本部庁用車	37	0	37	
備 品	事務局	ドラフトチャンバー	1	0	1
		遺体保冷库	1	0	1
		発電機	1	0	1
	消防本部	防災エアertent	2	0	2
		高度救急処置シミュレーターII型	1	0	1
		インパルス消火器具	0	0	0
		体力練成器具コンビネーションマシン	1	0	1
		三連梯子	11	0	11
		高性能消防指令システム機器一式	1	0	1
		高度救命処置用訓練人形 (レサシアンシミュレータ・Simpad)	2	0	2
		自動体外式除細動器一式	7	0	7
		消防救急デジタル無線設備一式	1	0	1
		空気充填用高圧コンプレッサー一式	1	0	1
		油圧カッター	3	0	3
		ラムシリンダー	1	0	1
		油圧スプレッダー	3	0	3
		簡易画像探索機	1	0	1
		無人航空機	1	0	1
		除染シャワー	1	0	1
		送排風機	1	0	1
		マンホール救助器具	1	0	1
		赤外線サーマルカメラ	1	0	1
		人工呼吸器	4	0	4
		心電計(モニター)	5	0	5
		血中酸素飽和度測定器	1	0	1
		メインストレッチャー	3	0	3
		自動心肺蘇生器	3	0	3
		ポンプユニット	1	0	1
		重量物排除器具	1	0	1
		救助用支柱器具	1	0	1
レスキューフレーム	1	0	1		
合 計		102	0	102	

3) 債権

(単位：千円)

区 分	R4.4.1	R4.4.1 ~ R4.9.30	R4.9.30
	現在高	増減高	現在高
貸付金	0	0	0
合 計	0	0	0

4) 基金

(単位：千円)

区 分	R4.4.1	R4.4.1 ~ R4.9.30	R4.9.30
	現在高	増減高	現在高
財政調整基金	309,965		309,965
消防施設整備基金	200,045		200,045
合 計	510,010	0	510,010

5) 公債残高

(単位：千円)

区 分		R4.4.1	R4.4.1 ~ R4.9.30	R4.9.30
		現在高	増減高	現在高
連 合 債	事務局	0	0	0
	消防本部	609,554	▲ 80,719	528,835
合 計		609,554	▲ 80,719	528,835

6) 一時借入金残高

(単位：千円)

区 分	R4.4.1	R4.4.1 ~ R4.9.30	R4.9.30
	現在高	増減高	現在高
一時借入金残高	0	0	0
合 計	0	0	0

令和3年度 菊池広域連合一般会計決算概要

1. 決算の状況

令和3年度決算は、歳入総額が25億5千524万円、歳出総額が24億4千850万1千円であり、前年度に比べ、歳入総額で8.8%の減、歳出総額で9.1%の減となりました。

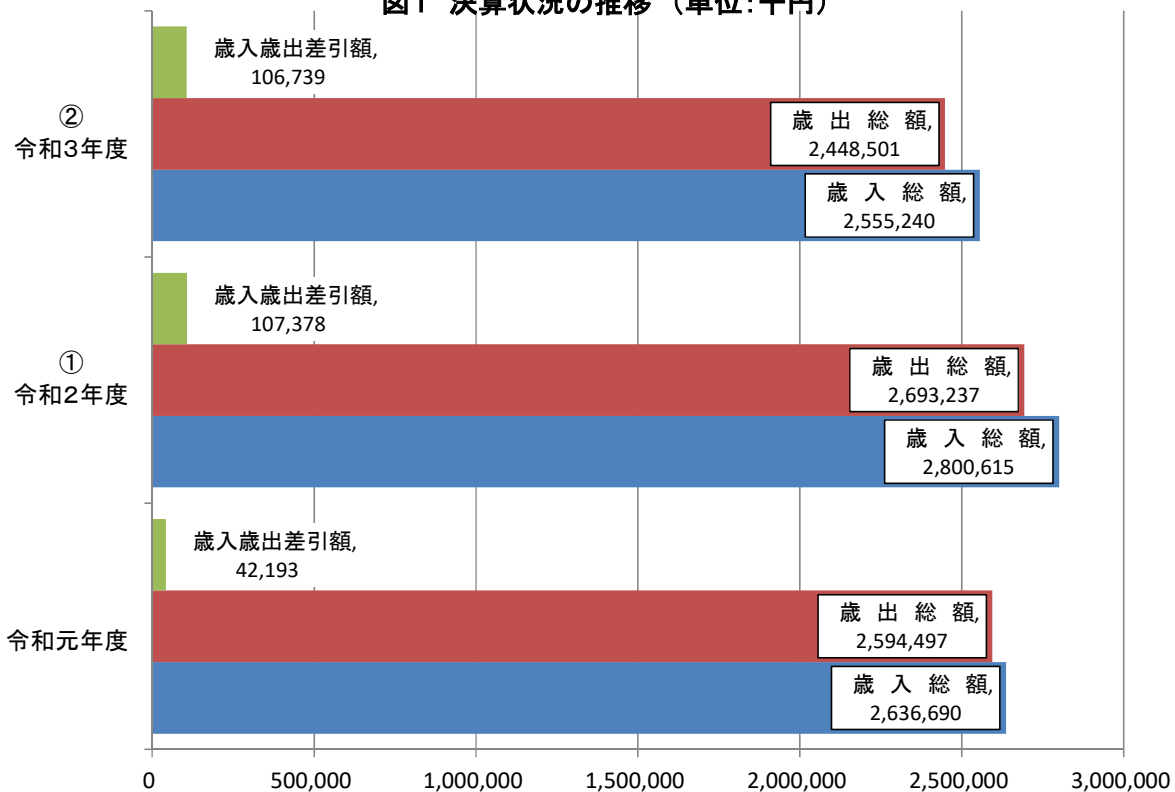
なお、歳入総額から歳出総額を引いた歳入歳出差引額(形式収支)は、1億673万9千円で前年度から63万9千円減少しております。

令和元年度から令和3年度の決算状況の推移は、以下のとおりです。

(単位:千円・%)

項目	決算額			前年度比較	
	令和元年度	① 令和2年度	② 令和3年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
歳入総額	2,636,690	2,800,615	2,555,240	△ 245,375	△ 8.8
歳出総額	2,594,497	2,693,237	2,448,501	△ 244,736	△ 9.1
歳入歳出差引額	42,193	107,378	106,739	△ 639	△ 0.6
翌年度へ繰越すべき財源	0	13,728	0	△ 13,728	-
実質収支	42,193	93,650	106,739	13,089	14.0
単年度収支	△ 8,529	51,457	13,089	△ 38,368	74.6
実質単年度収支	△ 67,247	23,031	10,680	△ 12,351	53.6

図1 決算状況の推移 (単位:千円)



※用語の解説

- 「実質収支」……… ・収支(歳入歳出差引額)から事業繰越等に伴い翌年度に繰り越すべき財源を差引いた額である。
* 実質収支=形式収支-翌年度へ繰り越すべき財源
- 「単年度収支」……… 当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差引いた額であり、当該年度のみの実質的な収入と支出の差額を意味する。
* 単年度収支=当該年度の実質収支-前年度の実質収支
- 「実質単年度収支」… ・単年度収支に、当該年度に措置された黒字要素(財政調整基金積立金、繰上償還)又は、赤字要素(積立金取崩し)を除外した場合、単年度収支が実質的にどのようになったかを検証するものである。
* 実質単年度収支=単年度収支+財政調整基金積立額+地方債繰上償還額-財政調整基金取崩し額

2. 歳入の状況

前年度と比較すると、分担金負担金が2億119万4千円の減、主な要因は、し尿処理費の工事費の減、消防費の車両購入費の減によるものです。使用料及び手数料が77万6千円の減、主な要因は、消防費手数料の減によるものです。県支出金が7万6千円の増、主な要因は、県に派遣している消防職員の人件費の増によるものです。財産収入が338万4千円増、主な要因は車両売払い収入によるものです。繰入金が2千602万8千円の減、主な要因は、し尿処理費の工事請負費の減、消防費の人件費の減によるものです。繰越金は、1千327万8千円の増、主な要因は、消防費の泉ヶ丘消防署基本設計繰越に伴うものです。諸収入が43万5千円の増、主な要因は消防学校負担金返戻によるものです。連合債は、3千500万円の減です。

令和元年度から令和3年度の歳入決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

歳入決算の状況

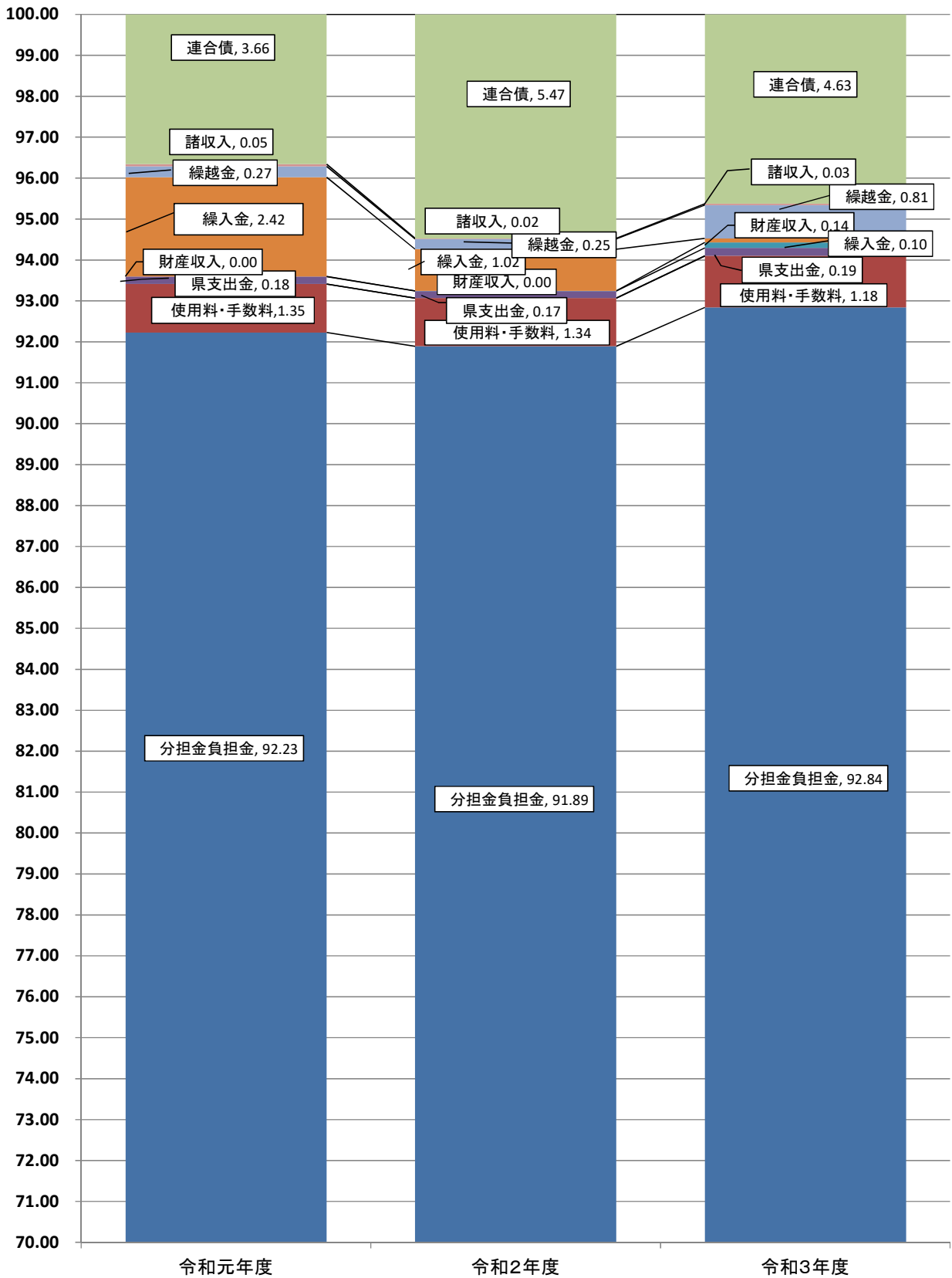
(単位:千円・%)

年度 項目	決算額			前年度比較	
	令和元年度	①令和2年度	②令和3年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
分担金負担金	2,431,816	2,573,541	2,372,347	△ 201,194	△ 7.8
使用料及び手数料	31,221	32,936	32,160	△ 776	△ 2.4
国庫支出金	0	0	0	0	0.0
県支出金	4,806	4,894	4,970	76	1.6
財産収入	114	82	3,466	3,384	4126.8
繰入金	63,908	28,508	2,480	△ 26,028	△ 91.3
繰越金	7,000	7,000	20,728	13,728	196.1
諸収入	1,325	454	889	435	95.8
連合債	96,500	153,200	118,200	△ 35,000	△ 22.8
合計	2,636,690	2,800,615	2,555,240	△ 245,375	△ 8.8

※用語の解説

- 分担金負担金…………… 菊池広域連合を構成する市町(菊池市、合志市、大津町、菊陽町)からの負担金。菊池広域連合規約で事業ごとに負担割合を定めており、本連合の運営費の大半に充てられている。
- 使用料及び手数料… 火葬場使用料、消防費手数料、行政財産使用料で構成される。うち、火葬場使用料と危険物施設許認可手数料で構成比の大半を占める。
- 国庫支出金…………… 国からの負担金、補助金等。(令和3年度については、該当なし。)
- 県支出金…………… 県からの負担金、補助金等。防災消防航空隊派遣職員の人件費及び県事務移譲交付金。
- 財産収入…………… 財産運用収入(基金の運用に伴う利子。)、財産売払い収入(車両等の売却)。
- 繰入金…………… 基金繰入金(基金の取崩に伴う繰入金。単年度における構成市町の負担金が増加しないよう調整している。)
- 繰越金…………… 前年度から繰り越された額。純繰越金と繰越明許費に充当する繰越金がある。
- 諸収入…………… 雑入等(他の歳入科目の区分に該当しないすべての収入。)
- 連合債…………… 特定の事業費等の財源に充てるため起こした連合債の収入額。

図2 歳入決算構成比の推移(単位:%)



3-1. 歳出の状況(目的別)

目的別に前年度比でみた増減の主な要因は、議会費については、4万6千円の減、費用弁償及び委託料の減によるものです。総務費については、1千633万6千円の減で、令和2年度に支出していた早期退職者の退職手当特別負担金及び泗水支所議場改修に伴う負担金の減によるものです。民生費については、119万5千円の減で、委託料の減によるものです。衛生費については、1億77万3千円の減で、クリーンセンター花房改修工事費の減によるものです。消防費については、1億1千957万1千円の減で、消防車両購入費の減によるものです。公債費については、681万5千円の減で、平成16年度借入分のし尿処理施設建設に係る起債の償還を終えたことによるものです。

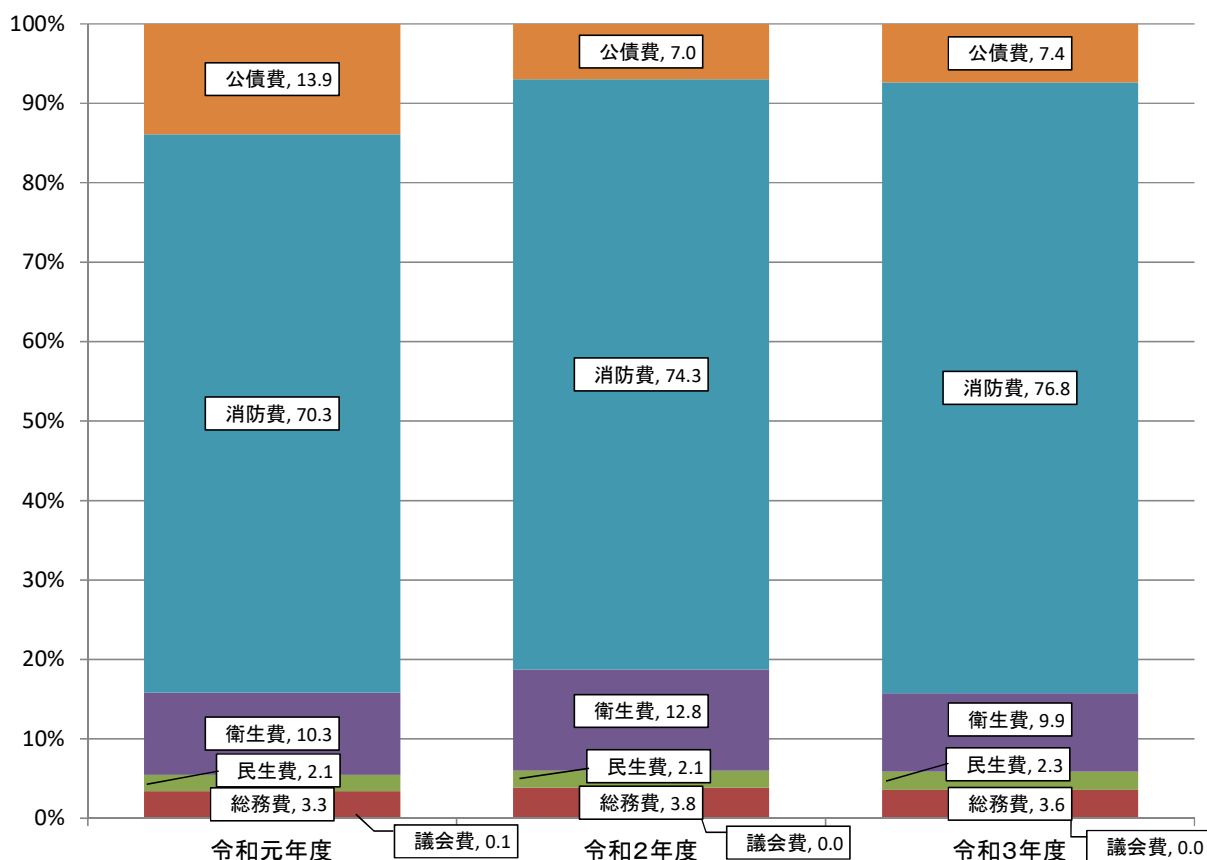
令和元年度から令和3年度の目的別歳出決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

目的別歳出決算の状況

(単位:千円・%)

項目	決算額			前年度比較	
	令和元年度	① 令和2年度	② 令和3年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
議会費	3,321	1,255	1,209	△ 46	△ 3.7
総務費	85,249	103,337	87,001	△ 16,336	△ 15.8
民生費	54,014	56,514	55,319	△ 1,195	△ 2.1
衛生費	268,112	343,415	242,642	△ 100,773	△ 29.3
消防費	1,823,058	2,000,813	1,881,242	△ 119,571	△ 6.0
公債費	360,743	187,903	181,088	△ 6,815	△ 3.6
予備費	0	0	0	0	0.0
合計	2,594,497	2,693,237	2,448,501	△ 244,736	△ 9.1

図3 目的別歳出決算の構成比の推移(単位:%)



3-2. 歳出の状況(性質別)

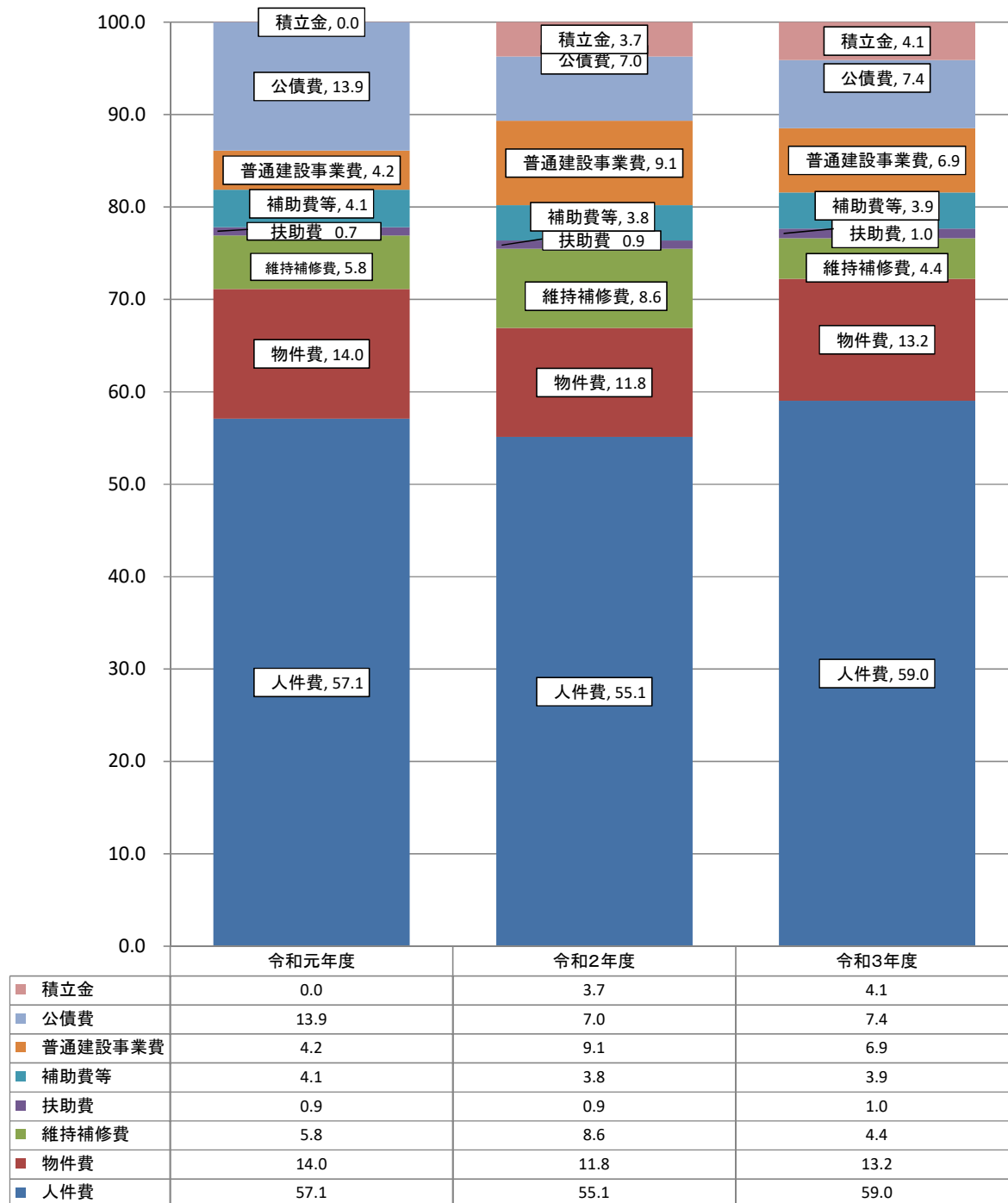
性質別に前年度比でみた増減の主な要因は、人件費については、3千916万5千円の減で、消防職員の人員減及び退職手当特別負担金の減によるものです。物件費については、621万2千円の増で、燃料費高騰による需用費の増によるものです。維持補修費については、1億2千425万7千円の減で、クリーンセンター花房改修工事費減額によるものです。扶助費については、135万5千円の増で、児童手当の増によるものです。補助費等については、658万7千円の減で、総務費負担金の減によるものです。普通建設事業費については、7千551万3千円の減で、消防車両購入費の減によるものです。公債費については、681万5千円の減で、し尿処理施設建設に係る起債の償還終了によるものです。積立金については、3万4千円の増で、消防施設整備基金利子によるものです。

令和元年度から令和3年度の性質別歳出決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

(単位:千円・%)

年度 項目	決算額			前年度比較	
	令和元年度	① 令和2年度	② 令和3年度	前年度比較額 ③=②-①	増減比 ③/①
人件費	1,481,513	1,484,176	1,445,011	△ 39,165	△ 2.6
物件費	363,304	317,721	323,933	6,212	2.0
維持補修費	151,346	231,044	106,787	△ 124,257	△ 53.8
扶助費	22,445	24,270	25,625	1,355	5.6
補助費等	105,433	102,600	96,013	△ 6,587	△ 6.4
普通建設事業費	109,599	245,441	169,928	△ 75,513	△ 30.8
公債費	360,743	187,903	181,088	△ 6,815	△ 3.6
積立金	114	100,082	100,116	34	0.0
合計	2,594,497	2,693,237	2,448,501	△ 244,736	△ 9.1

図4 性質別歳出決算の構成比の推移(単位:%)



4. 基金の状況

構成市町からの負担金を軽減するため、令和3年度は248万円を財政調整基金から繰入れました。その結果、財政調整基金の令和3年度末残高は、3億996万4千円となりました。

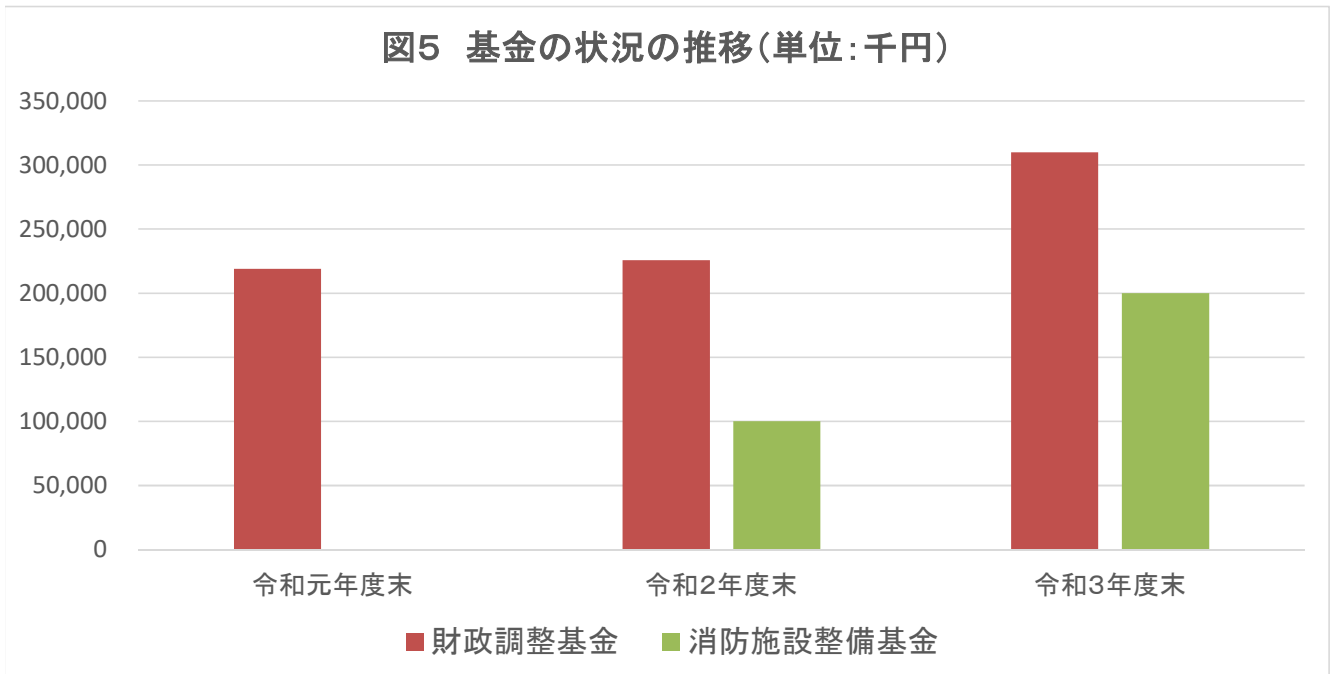
また、消防機関の施設及び防災基盤施設の計画的な整備のため、消防施設整備基金に1億4万5千円を積立しました。

なお、基金の状況の推移及び用途別の基金内訳は以下のとおりです。

(単位:千円)

基金の名称	設置の目的	令和元年度末 現在高	令和2年度末 現在高 A	令和3年度			令和3年度末 現在高 A+B-C+D
				歳出決算額 B	取崩・繰出 C	歳計剰余金処分 D	
財政調整基金	財源の調整	218,956	225,724	71	2,480	86,650	309,965
消防施設整備基金	消防施設整備	-	100,000	100,045	0	0	200,045

図5 基金の状況の推移(単位:千円)



用途別の基金内訳

項目	令和3年度末基金高
管理費等	4,689,757円
職員研修費	1,686,725円
介護保険費	6,325,523円
障害者福祉費	480,235円
火葬場費	45,293,291円
し尿処理費	99,341,384円
消防費	152,147,321円
合計	309,964,236円

5. 連合債の状況

連合債残高は、令和3年度に新規発行を2件(1億1千820万円)行い、令和3年度末残高は前年比6千153万2千円の減で、6億955万4千円となっています。

内訳は、消防費の庁舎整備事業(泉ヶ丘消防署建替工事)で施設整備事業債、北消防署災害対応特殊救急自動車整備事業で緊急防災・減災事業債の借入を行いました。

連合債の利率別の構成比は、0.5%以下が98.6%、0.5%超～1.5%以下が1.4%となっています。

年度毎の連合債の状況と令和3年度末現在高の利率別の構成比は、以下のとおりです。

(単位:千円)

起債区分	令和元年度末 現在高	令和2年度末 現在高 A	令和3年度 発行額 B	令和3年度元利償還額			令和3年度末 現在高 E=A+B-C
				元金 C	利子 D	合計 D	
一般廃棄物処理事業債	33,086	1,753		1,753	22	1,775	0
財源対策債	5,811	347		347	5	352	0
一般単独事業債	110,116	77,682	84,500	32,418	74	32,492	129,764
一般補助施設整備事業債	15,380	10,256		5,124	36	5,160	5,132
施設整備事業債(一般財源化分)	63,642	56,038		16,204	175	16,379	39,834
都道府県貸付金等	49,000	42,000		7,000		7,000	35,000
緊急防災・減災事業債	427,156	483,010	33,700	116,886	1,044	117,930	399,824
合 計	704,191	671,086	118,200	179,732	1,356	181,088	609,554

令和3年度末現在高の利率別構成比

